

2022年3月30日

## 通貨ニュース

# メキシコ：タカ派姿勢で足並みを揃えた Banxico

メキシコ中央銀行(Banxico)は24日、金融政策決定会合を開催し、政策金利(翌日物金利)を50bp引き上げて6.50%とすることを全会一致で決定した(図表1)。利上げは2021年6月以降、7会合連続。50bpの利上げは市場予想通りといえるが、全会一致での決定は今次利上げ局面に入って初めてのことである。ウクライナ危機に伴うインフレリスクの一段の高まりに、同行はタカ派姿勢で足並みを揃えた格好だ。

Banxicoは声明文で、パンデミックを起因とする供給制約からのインフレ圧力とともに、地政学リスクに伴う圧力が追加的に発生していることに言及した。

**In addition to the shocks that have affected inflation throughout the health emergency there are pressures associated with the geopolitical conflict.**

実際、2月の消費者物価指数(CPI)は前年比+7.28%と前月(同+7.07%)から再加速。12か月連続で同行の目標レンジ(前年比+2%~+4%)を上回った。3月前半のCPIも同7.29%と高水準を維持しており、直近ピークの同+7.36%に近付きつつある。また、2月コアCPIも同+6.59%と加速を続けており、インフレ圧力がより広範囲に及んでいることがうかがえる(図表1)。

先々のインフレ見通しも上振れが続いている。Banxicoの公表した最新のCPI見通しでは、足許の2022年1~3月期から2023年10~12月期にかけての8四半期について、前回会合時点から再び上方修正が加えられた(図表2)。コアCPIの見通しについて同様だ。インフレリスクのバランスについて声明文では、悪化(deteriorated)しているとの文言を追加するとともに、リスクは引き続き上方に傾いているとの認識を示した。

また、Banxicoは声明文で、追加利上げ決定の背景として、グローバルな金融環境の引き締めも指摘した。FRBは3月FOMCで利上げに着手し、2023年には中立金利を上回る水準まで政策金利を引き上げる可能性が示唆されたところだ。市場ではドル選好が強まった。しかし、ペソ下落はインフレへの影響の観点からBanxicoも無視できない。実際、同行はインフレの上振れリスクのひとつに通貨安(ペソ安)を挙げている。

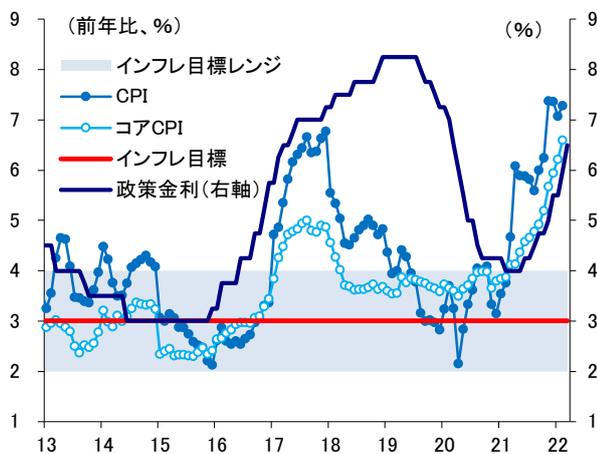
そして、地政学リスクの高まりによって、このドル選好は強まるもしくは長期化する可能性がある。現在のウクライナ危機は、供給面から資源価格高騰というインフレ圧力をもたらすだけではない。市場におけるリスク回避を強めることでペソをはじめとする新興国通貨の下落を促し、間接的にもインフレ圧力を高めうる。

市場営業部  
マーケット・エコノミスト  
堀内 隆文  
03-3242-7065  
takafumi.horiuchi@mizuho-bk.co.jp

以上を考慮すると、Banxico は次回会合(5月12日開催予定)でもタカ派姿勢を維持するとみられ、追加利上げの可能性は高そうだ。先々のインフレ見通しが抑制できなくなるようなことが無いよう、今回同様に全会一致で引き締めスタンスを明示するのではないか。これが回避されるとすれば、同行が挙げるインフレ下振れリスク、①ウクライナ危機の沈静化、②需給不足の影響が想定以上に顕在化、③原油価格の下振れ、④ペソ高、等が実現した場合となろう。

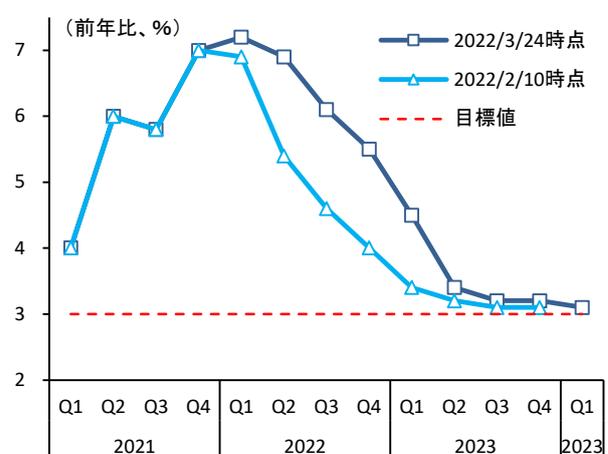
なお、今回の追加利上げ判断を巡っては、Banxico からの正式発表前にロペスオブラドール大統領が公表してしまうハプニングが発生した。決定内容が市場予想通りで、同氏も謝罪、周囲も火消しを急ぎ市場の混乱は回避されたが、同氏が Banxico の政策運営を歪めかねないという懸念は残る点に注意したい。

図表 1: 政策金利とインフレ率



出所: メキシコ中央銀行、地理統計院、ブルームバーグ、みずほ銀行

図表 2: Banxico の CPI 見通し



出所: メキシコ中央銀行、みずほ銀行

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。